


平成 28 年度 開催講座のご案内

あだち区民大学塾 特別講演会

北斎「富嶽三十六景」千住浮世絵の謎と碑を巡る



千住地域を題材に、富嶽三十六景の内、三枚もの作品が葛飾北斎によって描かれていることは、あまり知られていない。この度、千住文化普及会は「あだちまちづくりトラスト」の助成金によって制作地と想定されている三カ所に顕彰碑を建立します。千住浮世絵の“なぞ”に焦点をあて、その描かれた地を巡り、足立区の文化遺産としての魅力を伝えます。

回	開催日時	テーマ	
1	4月16日(土) 午後2時～4時	葛飾北斎「富嶽三十六景」千住浮世絵の謎 ～千住宿と富士塚から迫る～	
		講師: NPO 法人千住文化普及会理事長 榎原文夫氏 <small>いちばら</small>	
2	4月23日(土) 午後1時30分 ～4時	北斎顕彰碑「富嶽三十六景」千住浮世絵を巡る ～武州千住・隅田川関屋の里・従千住花街眺望ノ不二～	
		現地学習	

みんなで考える日本の食と農



私たちの食に直結している農業。都市部に住み農業を意識することはなくても、私たちの生活とは切っても切れない関係にあります。

これからの「日本の食と農」を考えるための基本的視点となる、農業従事者の減少や輸入農産物の増加、食生活の変化、TPP の影響などについてデータやグラフを用いて分かりやすく解説します。

回・月日	講座内容・テーマ	講師
第1回 4月10日	今「日本の食」はどうなっているのだろうか ～飽食ニッポン、自給率 39%で大丈夫か～	柴田 寛氏 元農林水産省 課長職
第2回 4月17日	今「日本の農業」はどうなっているのだろうか ～後継者難、農産物輸出1兆円は可能か～	
第3回 4月24日	グローバル化で「日本の食と農」は今後どうなるのか ～世界で「食」の奪い合い? TPP 参加の行方～	

講座運営スタッフへの参加をお待ちします。
電話・FAX 03-5813-3759 (平日午後1時～5時)

E-Mail : t3436s@yahoo.co.jp

申し込みは、あだち区民大学塾事務局へ

(ボランティア活動推進部 齋藤龍男)

森 太一氏と語ろう！「生涯学習から考える楽学の会の今とこれから」



去る 17 日、足立区学力定着推進担当課長・森 太一様をお迎えしました。森課長は会の立ち上げから関わっておられたことから、「楽学の会」発足のきっかけから話して頂きました。まず、ボランティア活動を知って関わっていただけるよう夜間の活動を意識して、「生涯学習ボランティア養成講座」を夜の講座にしたこと。養成講座を開けてみたら想定外の男性の参加も多く、男女半々ほどの 20 数名の修了者で自分たちの活動としてグループを立ち上げた団体が今日に至っていること。リーダーを決め拳々諤々の末「楽学ニュース」のロゴが生まれ、ボランティアと学習

館を繋ぐ「楽学ニュース」ができたが、手書き・切って・貼って・コピーするという大変な作業で作られ、それでも区の顔「ニコニコ笑顔でこんにちは」の精神で受付、接待、会場係をしながら進めてきたこと。

養成講座については、中身を変えないで講師も同じ先生にお願いして実施したが、これは、何年後に入会してもボランティアとしての会員の考え方や知識を同じにすることで、ボランティアが同じ方向で関わって運営をすることが出来るようにするためとのこと。当初職員はボランティアの人に「自分たちの仕事を取られてしまうのでは」と思えたそうで、職員が納得できるような説明をされたという。

また、生涯学習は、必要な学びを区民の目線で、区民が企画し講座を作るべきだという考えの元、企画が楽しくなるようにトレーニングをして下さっていたことなど話されました。

実際に「楽学の会」の自主講座「あなたが探す 21 世紀の生きがい」「携帯電話と私達の暮らし」などの企画は、区民目線で行ったことで成功した講座となり、公社の方々のボランティア受け入れに対する認識が変わっていったそうです。そして、ボランティアとしての「楽学の会」の名前が広がり軌道に乗ったのは珍しいことだとも話されました。



また、高齢社会とこれからの足立区の生涯学習を考えた時、「楽学の会」の事業として「あだち区民大学塾」の仕組みを考え、行政との繋がりを作って頂いたことも当会にとって嬉しいことでした。更に森課長は「ボランティアの方々がスキルを磨いて来たことに間違いはなく、養成講座から同じ学びを得て、初めから自分たちの企画で行ってきたことが成果に繋がったと思う」と話され、これは会員にとっても励みになる言葉でした。

続けて、「ボランティア団体にそれぞれの所管、専門職、コーディネーターがどれだけの指導、助言が出来るかがポイントだが、そこが出来ていたと思う。これからの区民大学塾は、新しいものを入れながら視野を広げること、自分たちのキャリアで生涯学習は「楽学の会」にありと言えるように活動して欲しい、今後は会員を増やしていくことが課題である」と励まされました。また、「久しぶりに皆と話がしたい」と駆けつけて下さった当会顧問の大久保邦子さんからは、行政の呼びかけで「楽学の会」のようなボランティアグループが育つのは素晴らしいこと、養成講座ではそれぞれの先生方がボランティアについて話されたが、いろいろなボランティア論があって良い、その中から自分が選べるのが大切ですと話されました。会員との意見交換もあり、充実した月例会となりました。



ボランティア活動推進部 (田中桂子)

平成27年度 人権講演会参加報告 (2月12日 足立区役所 庁舎ホール) 子どもの人権 日本における子どもの貧困問題から考える

講師：湯澤直美 氏 立教大学コミュニティ福祉学部 教授

第1部、人権啓発ビデオの上映

第2部、講演「子どもの人権 ～日本における子どもの貧困問題から考える～」

DVDの視聴「智の物語」(幸重社会福祉士事務所で教材として作られたフィクションの物語)

講演の内容は、

1、子どもの貧困対策の推進に関する法律の施行と「子どもの貧困対策大綱」の閣議決定

法律の施行についての概要紹介と閣議決定の体系説明

2、日本における子どもの貧困の現代的態様

子どもの貧困率の悪化、ひとり親世帯の相対的貧困率、子ども期の貧困と社会的不利について

3、深刻な子育て世帯の生活基盤と教育、

雇用、生活基盤、学校教育における私費負担の高さと進路選択について、

4、保護者の理解のために

世帯主の学歴や生活保護の捕捉率、ひとり親世帯の学歴階層別統計や最終進学目標など

5、子ども期に貧困に晒されるということ

貧困が子どもの暮らしに与える影響の一例を表で示す

そして、湯澤講師は最後に、子どもの貧困の解決に取り組む社会的対応について、

子どもは、尊厳ある、独立した人格、子どもは、生まれながらに人間として尊重されるべき権利がある健やかな育ちのため、将来に備えて、保障されることが必要、と締め括られました。

今回の講演では、日本における母子家庭(父子家庭も同様)の現状が理解出来ました。また、行政・周囲に助けを求める環境を早く作るべきと痛感した。子供同士の「いじめ」は、残酷であり、周りの大人が目配りをして防ぐ必要がある。子供のしつけには、各家庭の役割が大きいと感じた。「子どもの人権」とは何か? それを守るためにはどうすべきなのか? 考えさせられる講演でした。

(江川、金子 記)



「あだち皆援隊講座」受講生が来訪 (2月6日)



この度、受講生5名と当講座のコメンティター・山下洋輔氏、区民参画推進課から河野氏の計7氏が来訪されました。3月の講座の修了式を前に「地域をつくる学び」コースを選択された方々です。これからグループを立ち上げ活動に繋がりたいとの目的で、楽学の会の運営や活動の経験を参考にしたいとのことでした。

5名の皆さんは、すでに地域のために具体的に活動されている方や、これから地域をもっと良くするために活

動したいとの熱意をお持ちの方々に、一問一答の形式で行いました。

質問や意見のはしはしに熱き思いを具体化したい意欲が感じられ、グループとして活動される日も近いのではないかと期待しております。後日、山下洋輔様より「見学会のあり方からご助言を頂き、受講生にとって実り多いものとなったと思います、「議論から抜け出し実践しなければ見えてこない」とのお言葉、受講生一同、心に響いたのではないかと感じます」とのメッセージをいただきました。

「楽学の会」出席者：早坂、江川、田中(桂)、佐々木、原田(記)

みんなの広場

〈 道 程 〉

千住宿

- ↓高札場跡・一里塚跡
- ↓問屋場跡
- ↓橋井堂跡（森鷗外旧宅）
- ↓千住ほんちょう公園
- ↓絵馬屋（吉田家）
- ↓伝馬屋敷（横山家）
- ↓水戸街道分岐点
- ↓かどや（槍かけ団子）
- ↓名倉医院
- ↓生涯学習センター北口
- ↓千住新橋
- ↓日光道道標（あさひ銀行前）
- ↓国土安穏寺
- ↓増田橋交差点
- ↓毛長川の水神橋
- ↓浅間神社
- ↓火あぶり地蔵標
- ↓草加宿道標

草加宿

日光道中 めもと旅 ②

千住宿～草加宿（2里8町 8, 7 km）



2010年10月23日、2宿目の草加宿を目指して歩きました。足立に住んでいながら、通称“宿場町通り”と呼ばれる旧日光街道をじっくり見学したことがなかったため、江戸の面影を保存

しようという熱い思いが伝わりました。絵馬屋（吉田家）と伝馬屋敷（横山家）が目に入ったときは感動しました。水戸街道分岐点では歴史上の人物が往来したことに思いが馳せました。名倉医院の長屋門を見ながら歩を進めて荒川を渡りました。環七を過ぎて300mほどで国土安穏寺に着きました。秀忠や家光が鷹狩りや日光参詣の時よく立ち寄ったため御成門があり、葵の紋も見えました。庭もよく手入れされ、「島根歌舞伎発祥の地」の碑がありました。

すぐ近くには島根の鎮守様である鷲神社がありました。毛長川の水神橋を渡ると草加市。浅間神社を右に見ながら進むと「火あぶり地蔵」がありました。浅間神社では富士講が開かれていたとのこと。煎餅屋さんが目につくようになり、更に進むと草加宿道標がありました。ここで2回目の旅を終えました。（佐々木善光）



「社会教育」2月号記事紹介

◆ 当会顧問・斎藤哲瑯氏 寄稿

「地域の中に自分の居場所を見つけよう」

～新しい仲間や生きがいを求めて～

との記事が掲載されています。是非ご覧ください。

冊子は生涯学習センターのワークルーム書架に保管してあります。



斎藤顧問ご提供：近くに咲いている河津桜



2月運営委員会 (2月1日)

1. 代表挨拶：報告および提案

27年度も終盤に入り、寒冷の中、暫く開催されなかった夜間の講座が入っております。大勢の協力者が運営ボラに参加してくださるようですが、健康に留意されて、よろしく願いいたします。また、内外からイベントの案内もいただいておりますので、自身を磨く研修の場として積極的に活用し、そうした体験を会の活性化に生かして頂ければと思います。

また、28年度に向けた「あだち区民大学塾」の企画も順調に滑り出していると思いますが、皆様のお知恵と能力をフルに生かして、運営を盛り立てて頂きたいと思っております。

2. 議題

(1) 情報交換

- ・国社研の研修について（参加者交通費、お弁当代など） 参加者：江川、篠原
- ・子どもの貧困講演会の件（2/12） 参加者：金子、江川
- ・「あだち皆援隊」事業からの依頼、 2/6（土）13:30～
- ・あだちサークルフェア 10/8、9開催

(2) 月例会開催について

- ・2月月例会 2/17 「森 太一氏と語ろう」 15:30～5:30 皆さんの出席をお願いする。

(3) あだち区民大学塾（検討会議・企画会議・地域協働講座）

- ・「徒然草」3月開講 2/2 依頼状送付

(4) 受託事業について

- ・「健康づくりに生かす運動とからだの生理学」 日本体育大学教授 中里浩一氏
2/11、15、18、22、25、29開催 19:30～21:00 応募者 2/1 現在 18名
2/4、2時から事前打合せ

(5) 各部局・PTからの報告および提案（省略）

新会員紹介

長谷川義美さん



きっかけは足立区の広報誌の生涯学習講座の募集案内でした。講座内容を見ると惹かれるものばかり、早速申し込み、古文書の読み方、江戸しぐさ、歩いてみたい「古代奈良」などの講座に参加したところ、どれもわくわくする内容のもので講座の時間もあっという間に過ぎました。そして「楽学の会」について知りました。定年退職して5年になります。自分でも一歩踏み出していければという思いで入会させていただきました。

諸先輩から学ばせていただきながら自ら次の一歩に進めていけたら、そしてお役に立てていけたらと思っております。

足立区生まれの足立区育ち、よろしくお願い申し上げます。

生涯学習センター 講座情報

◎ 講座名：第4回地域の大黒柱 おやしバンド合戦

日時：3月27日 日曜日

午後1時30分～5時30分

場所：生涯学習センター 4階 講堂

入場料：無料 定員：とくになし

対象：どなたでも

内容：音楽活動を通して地域のきずなを深めるイベントです。足立区在住、在勤の方を含む平均年齢が30歳以上のアマチュアバンド10組によるバンド合戦です。安定性、テクニック、パフォーマンスなどの優れたバンド4組を表彰します。

ゲスト出演：市川バンド、司会：阿里耶



◎ 講座名：歌舞伎のいろは(観劇付)

日時：4月7日～6月2日の毎週木曜日(5/5を除く)

午後2時～3時30分

場所：生涯学習センター 5階 研修室1

受講料：7,000円(一般)、4,900円(70歳以上の方、障がい者手帳をお持ちの方)

観劇料：6,000円

定員：50名(申込先着順)

対象：16歳以上の方

内容：歌舞伎のいろはから勉強します。「五月大歌舞伎」の見所紹介及び観劇も組み込まれています。

講師：松竹株式会社派遣講師

申し込みは、生涯学習センターへ
電話(03-5813-3730)または直接窓口へ

4月「月例会」のご案内

4月の月例会は、次の通りです。

よろしく申し上げます。

◎日時 4月13日(水) 午後3時半～5時半

◎場所 生涯学習センター 5階 研修室2

テーマ：「戦国時代の葛西城の争奪戦」

(足立区役所文化財係長、学芸員 加増 啓二氏)

会員の積極的な参加をお待ちしています。

(ボランティア活動推進部)

楽学インフォメーション

★会合のお知らせ★

- ◎ 運営委員会
3月1日(火) 午後3時～5時 研修室4
- ◎ 月例会
3月16日(水) 午後3時半～5時半 研修室3
- ◎ 学習支援部
3月9日(水) 午後2時～4時 ワークルーム
- ◎ ボランティア活動推進部
3月4日(金) 午後2時～4時 ワークルーム
- ◎ 広報部
3月7日(月) 午後2時～4時 メール会議
3月22日(火) 午後2時～4時 ワークルーム
3月25日(金) 午後2時～4時 ワークルーム
- ◎ 事務局
3月2日(水) 午後2時半～4時半ニュース発送
3月8日(火) 午後2時半～4時半ワークルーム
- ◎ 大学塾講座検討会議
3月16日(水) 午後2時～3時半 研修室3
- ◎ 大学塾講座企画会議
3月1日(火) 午後1時半～3時 研修室4
- ◎ 生涯学習センター 休館日
3月14日(月)

★お問い合わせ&ご意見等

- ◎ 「楽学の会」の運営に関するお問合せ
事務局 江川武男 電話:090-3105-8140
E-Mail: takeo-wg@cj9.so-net.ne.jp
- ◎ 「ホームページ」に関するお問合せ
広報部 神戸 明 電話:03-3606-0058
E-Mail: a-kambe@adachi.ne.jp

ホームページ・メルマガのご案内

ホームページおよびメルマガは、引き続き月初めに更新、発行していきます。情報は楽学ニュースとも連動し、会の活動の情報を一般の人達に提供していきます。会員皆さんのPRと情報提供をお願いします。

(HP/メルマガ担当)

編集後記

今月は久しぶりに6ページの編集となりました。記事の多少にかかわらず、編集作業は同じ。会員皆さまの情報のタイムリーな提供をお待ちしています。

(広報部)